

## アンケート調査票（案）に対する意見と修正案

※ 網掛け：調査票への反映を予定しているご意見

## ご意見 1

No.	アンケート区分	意見の内容	普光院コメント&修正案	共通項目
1	一般市民	Q1に追加 保育園のICT活用状況（連絡帳アプリ、園児の様子共有など）	追加「保護者に連絡帳（アプリ）などで子どもの様子を知らせてくれる」	(保護者 Q1と共 通)
2	一般市民	Q1に追加 保育園の新型コロナウイルス等感染症対策	追加「安全・防災対策、感染症対策などがしっかりしている」(5と6の間に入れる)	
3	一般市民	Q1に追加 保育園の防災・安全対策		
4	一般市民	Q1に追加 多様な保育ニーズへの対応（延長保育、休日保育、病児保育など）	延長保育は3の選択肢に含まれる。小金井市は休日保育はない。病児病後児は小児科併設。	
5	一般市民	Q2に追加 地域の多様な世代との交流機会の提供	追加「地域との世代を超えた交流」	(保護者 Q2と共 通)
6	一般市民	Q2に追加環境教育や持続可能性に関する取り組み	6に含まれます（他にもいろいろ考えらえるので増えすぎてしまう）	
7	一般市民	Q2に追加 保護者の働き方の多様化に対応した柔軟な保育サービスの提供	2に含まれます	
8	一般市民	Q3. の回答「4. 子どもの権利が生かされる社会環境づくり」は範囲が広く漠然としているのでわかりにくい。	修正「子どもが家庭の状況、性別、障害の有無などによって差別されることなく、等しく権利が保障される社会環境づくり」	
9	一般市民	Q3. 16の修正 子どもが、自ら情報にアクセスできて安心して学べる環境づくり	子どもの権利の参加する権利に含まれるものですが、現代では情報アクセスにリスクが大きくなっており、簡単には言えないと思います。しかし、16は確かに意味が広すぎるので修正「社会経済的に不利な環境にいる子どもの学習支援」とする	
10	一般市民	Q3. に追加 人種、障害、性別等の差別のない環境づくり、インクルーシブ教育の推進	4の修正に含めた(項目番号 No.8)	
11	一般市民	Q3. の回答「11. 子育てしやすい職場環境の実現」は市政が自身の職場にどう影響するのか想像しにくい。「21. 誰もが子育てと社会参加できる環境、ワーク・ライフ・バランスの実現」とどう違いがわからないので、想像できるように具体性がほしいです。	削除。ワークライフバランス・労働施策は自治体の施策ではないので11と21は削除。	
12	一般市民	Q3に追加 保育園と小学校の連携強化（スムーズな就学支援）	追加(17のところに入れる)「幼稚園・保育園・小学校の連携の強化(スムーズな修学支援)」	
13	一般市民	Q3に追加 子育てに関する情報のデジタル化・一元化	国はDX化を進めようとしています、重視すべき施策として挙げるには細かいと思います	
14	一般市民	Q3に追加 父親の育児参加を促進するための支援	追加「父親の育児負担を促進する働きかけ(父親も視野に入れた子育て支援など)」(11のあたりに入れる?)	
15	一般市民	Q3. 20の追加修正 地域の子育てネットワークの整備、地域全体で子育てを支援する体制づくり	修正「地域全体で子育て支援をするネットワークの整備」	
16	一般市民	Q5.を新たに追加 小金井市の保育・子育て支援に関する情報をどのように入手しますか？（複数選択可）  1. 市の公式ウェブサイト 2. 市の広報誌 3. SNS (Twitter、Facebook、Instagram等) 4. 地域の掲示板 5. 保育園や幼稚園からの情報 6. 友人や知人からの口コミ 7. 子育て支援センターなどの施設 8. その他（具体的に： )	今回のアンケートの目的から離れていると思います	

17	一般市民	Q6.を新たに追加 小金井市の保育・子育て支援サービスで、あなたが最も評価している点は何ですか？（1つ選択）  1. 保育の質 2. サービスの多様性 3. 情報提供の充実 4. 相談体制の整備 5. 経済的支援 6. 地域との連携 7. その他（具体的に： ）	選択肢の意味が広すぎて回答を活用することが難しいと思います	
18	保育者	Q1.「保育、子育て支援の質の向上にとって重要だと考えるものをお選びください。（それぞれひとつを選択）」 の重要性だけでは、実践できているかどうかはわからないので、Q2に「Q1は実践できているか実際に近いものをお選びください（それぞれ一つを選択）」を追加し、 回答を「確実にできている / おそらくできている / おそらくできていない / （絶対に）できていない」を追加してほしい。	現場の感覚での課題をお聞きすることを目的とした設問です。これに加えて実態を同時に聞くことは、回答の負担を増すとともに、前者の回答にも影響を与えてしまうように思います。	
19	保育者	Q1.に追加 スタッフの教育プログラムが作成・運用されている	3に含みます。事業者の観点からはご意見のような問い方がよいかもしれませんが、現場の立場からの選択肢にしておくのがよいと思います。	
20	保育者	Q1.に追加（自主的な継続的な評価・改善プログラムの実施） 定期的な情報共有・議論を行い改善案を検討・共有すること（安全管理、感知情報・対策、子どもや家族対応、業務改善等について）	4に含みます。現場にわかりやすい書き方にしています。	
21	保育者	Q1.に追加（継続的な質の評価と改善） 定期的な第三者評価の実施と結果に基づく改善活動 ※前回難しいと聞いたが、実施できる方法がないか検討してほしい	追加「第三者評価、指導監査などの結果に基づいて、運営体制や保育の見直しを行うこと」(13の次くらいに入れる)	
22	保育者	Q1.の④の誤字「保育方針の教諭（共有）」	修正「保育方針の共有」	
23	保育者	Q1.に追加（保育士の心理的安全性） 保育士が安心して意見を言えたり、新しいアイデアを試せたりする環境づくり	4に含みます	
24	保育者	Q1.に追加（多様性への対応） 多様な文化背景を持つ子どもや家族へのサポート体制	18に含みます	
25	保育者	Q1.に追加（継続的な質の評価と改善） 定期的な第三者評価の実施と結果に基づく改善活動	上記（ご意見21番）での追加項目に含みます	
26	保育者	Q1.に追加（保育内容の充実） 特色ある保育プログラム（例：自然体験、芸術活動）の実施		
27	保育者	Q1.に追加（保護者教育） 保護者向けの子育て講座や勉強会の実施		
28	保育者	Q2.に追加（インクルーシブ教育の推進） 障害の有無に関わらず、すべての子どもが共に学べる環境づくり ※特別な配慮や支援が必要な児の受け入れだけでは不十分で、ともに厚労省が推進している共に学べる環境づくりの設問を追加	保育機能の拡充は重要であり、機能が拡充されれば質の評価も上がりますが、それだけ現場の負担は増えます。ここで機能拡大したほうがよいかどうかを聞くのではなく、挙げていただいた保育も含めた保育全般の質を上げるために、どんな課題があるのかを聞く設問になります。	
29	保育者	Q2.に追加（環境教育の実践） 持続可能な社会づくりに向けた環境教育の取り組み		
30	保育者	Q2.に追加（ICTを活用した保育の実践） デジタル技術を活用した新しい保育方法の開発と実践 ※保育士不足が叫ばれるため、DX化の推進が必要	12に含みます	
31	保育者	Q2.に追加（保育士のメンタルヘルスサポート） 保育士のストレス管理やバーンアウト防止のための支援体制 ※離職や安定的な運営のためにも追加	追加「離職を防止するための保育士のメンタルヘルスサポートの実施」(4の後に付ける)	
32	保護者	Q1に追加 保育園のICT活用状況（連絡帳アプリ、園児の様子共有など）		
33	保護者	Q1に追加 保育園の新型コロナウイルス等感染症対策	一般市民Q2と同じ	一般市民 Q2と同じ

34	保護者	Q1に追加 保育園の防災・安全対策		
35	保護者	Q2に追加 保育士と保護者のコミュニケーションが十分にとれている	意味として現在ある選択肢に含まれています	
36	保護者	Q2に追加 子どもの個性や特性を理解し、適切な対応をしてくれる	意味として現在ある選択肢に含まれています	
37	保護者	Q2に追加 保育園での活動や行事に保護者が参加する機会がある	保育の基本的な内容であり、優れた保育の質をとらえるための設問であるQ2には含めなくてよいと考えられます。	
38	保護者	Q4.に追加 保育園と保護者のコミュニケーション手段の充実（ICTの活用など）	これは個々の施設が取り組むことで、小金井市の保育の質の確保・向上策として聞くのはおかしいと思います（すでに連絡帳アプリは普及しています）	
39	保護者	Q4.に追加 保育園の第三者評価の実施と結果の公開	すでに実施されています	
40	保護者	Q4.に追加 保育園での多様性（文化、言語、障害など）への対応の充実	Q5の7や14と重複。Q4は保育の基本機能としての質の向上に必要なことを聞き、支援事業・保育メニューとしてとらえられるものはQ5で聞くように区分けしたいと思います。	
41	保護者	Q5に追加 保護者同士が交流し、情報交換できる場	1に含みます	
42	保護者	Q5に追加 子育てに関する講座や勉強会の開催	追加「子育てに関する講座や勉強会の充実」(3と4の間に挿入)	
43	保護者	Q5に追加 多言語対応の子育て支援サービス	追加「行政窓口や子育て支援施設で多言語に対応すること」(3と4の間に挿入)	

ご意見 2

44	保護者 一般市民	「小金井市の子どものために民間保育園・市立保育園の役割として期待するものについてお答えください。（それぞれひとつを選択）」の選択肢を以下のように変更  1. 公立保育園の役割として期待する 2. どちらかといえば公立保育園の役割として期待する 3. どちらともいえない 4. どちらかといえば民間保育園の役割として期待する 5. 民間保育園の役割として期待する	児童福祉制度という観点から見れば、本来は民間も担うべき役割もあるし、全体に公立と答えざるを得ないと思われる選択肢もあるが、保護者や市民がどうとらえているのかをあえて聞く設問であると思います。無理にどちらかを答えさせるような選択肢は意図的にのってしまうので、左の2本の選択肢を「どちらかといえば公立保育園に期待する」「どちらかといえば民間保育園に期待する」と変更するとどめてはどうでしょう。	保護者Q3、一般市民Q2共通
44	全員への設問	一般市民に対して、小金井市の保育に関する興味・関心の有無やその理由、理解度に関する設問は必ず入れていただきたい。	未検討	
44	保育士	保育士不足に関する実態確認、改善策に関する質問を追加いただきたい。 2. 保育士不足が小金井市のみならず社会問題となっていますが保育士不足に関する課題に関してお答えください。 ① あなたが現在の保育園で働くことを選んだ理由は？ a.場所（家から場所が近い。） b.給与面 c.勤務時間（柔軟な働きができる。休みがとりやすい） d.保育理念・内容等に惹かれる ② 保育士不足の理由は？ a.給与が安い b.責任が重い c.休みがとりづらい。勤務時間の柔軟性がない d.産休・育休がとりづらい e.勤務時間以外に時間がとられる f.保育以外の事務作業が多い g.長く継続的に働くことができない	選択肢を吟味の上、追加	

普光院の追加意見

44	保護者 一般市民	Q1-7の選択肢にある「特色のある保育」の例示として「学習」が含まれているが、保育所保育指針が求める保育からはなじまないものであり、行政が行うアンケートに含めることに違和感がある。	修正「特色のある保育を行なっている」 * カッコ書きを削除する	保護者Q1・市民共通Q1
45	保護者 一般市民	保護者Q3、一般市民Q2の8の選択肢にある「アレルギーを持つ児童」は保育所保育指針において、認可保育所が標準的に対応すべきものとされているので、あえてここに挙げるのは不適切と考えられる	修正「特別な配慮が必要な児童の支援・受入」	保護者Q3・市民共通Q2
46	保護者 一般市民	Q5の7と14に障害児に関する内容が重複している	修正 14の選択肢から「障害をもつ子どもや」を削除	

47	一般市民	Q3-17はアイデアとして面白いと思いますが重要施策として取り上げるには細かすぎると思います	17を削除	
48	保育士	Q1の選択肢を分けているジャンル名は不要	削除	